



低處高思

～自ら啓き 未来を拓く～

令和6年3月14日

発行 北垣内 博

令和6年度の姿がみえた3学期

47日間の3学期が終業しました。一年の中でも大変短い学期でしたが、この僅かな学校生活が、生徒にとっても、中込中学校にとってもどんなに大切なものであったかは言うまでもありません。この最も短い3学期こそ、生徒一人ひとりの成長ぶりがはっきりと目に見えてわかる学期であると考えていました。

進路決定のための一日一日をすごしてきた3年生。悩みながらも、人に流されることなく、自分の意志と考えをしっかりと固めて、進路を自分で決めた3年生の皆さんの姿を見ていて、これからの一人ひとりの生き方に大いに期待したいと思います。学友会を立ち上げるための一日一日を過ごしてきた2年生。加えて、修学旅行のための準備を過ごしてきた2年生。新年度に向けてスタートした学友会活動の様子、3年生を送る会の運営、感心しました。皆さんの願いとリーダーシップで、中込中学校が新たな一歩を踏み出すに違いないと確信しました。新入生を迎えるために、上級学年になるための学年づくりの一日一日を過ごしてきた1年生。2学期までの生活を具体的に見返し、目に見える改善を実行している姿がありました。中学校説明会や3年生を送る会での姿を目の当たりにして、堂々と新入生を迎えられる上級生になれると私は思います。

学年、個人共に、それぞれが異なる目標であっても、その実現のために具体的に努力する姿が、令和6年度の中込中学校の姿なのだと思います。3学期、1年間を振り返り、すべての人々に感謝します。ありがとうございました。



歴史を刻んだ卒業生の皆さんへ

中込中学校は、卒業される皆さんを加え、14557名の卒業生を数えることとなります。多くの立派な人々を輩出した歴史ある中込中学校卒業生の一員となります。卒業生の皆さんの三年間の歩みは、伝統ある中込中学校の歴史に輝かしい1ページを刻んだ日々であったと思います。いつの日か、皆さんが懐かしく中込中学校での生活を思い出したとき、何故あのようなことができたのだろうと、きっと振り返ることでしょう。

卒業生の皆さんが確かに残してくれた「Act for people! ～思いやりからつながりへ～」の鍵をしっかりと手にして、私たち中込中学校の生活が、より明るく、心豊かで、心ゆくものになりますように、在校生と共に、手を携えて歩き出すことを約束したいと思います。

これから広がる卒業生の皆さんの生活が、夢と希望に満ちた若さあふれるものでありますように願って止みません。今までお支えいただいた保護者の皆様、地域の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。